

許可業者

50.9万、4年ぶり微増

08年度末 新規取得は2万割れ

国土交通省は13日、3月末（08年度末）時点の建設業許可業者数を発表した。業者数は50万9174と、前年度末に比べ0.3%、1646業者増えた。08年度に許可の更新期を迎えた業者が少なく、許可失効の件数が減ったことが微増の要因。新規に許可を取得し

た業者は前年度比7.5%減の1万8902業者で、新規許可業者が2万業者を下回るのは04年度以来2度目で、国交省は「業者数が減る傾向は変わらない」としている。国交省によると、建設業許可の有効期間を3年から5年に延長した94年度以降、更新件数は最初の3年間に集中して多くなり、その後の2年間は少なくなるというサイクルを繰り返している。08年度は更新件数が減少する年に当たるが、既に更新済みの許可業者のうち、廃業した業者からの業者に次ぐ低い数字。一

方、許可が失効した業者は1万7256業者（前年度末比53.6%減）で、内訳は、廃業を届け出た業者が1万0258（18.2%減）、更新手続きを行わなかった業者が6998（71.6%減）だった。大臣・知事許可別の業者数は、大臣許可が9896（1.8%減）、知事許可が49万9278（0.4%増）。大臣許可が1万業者を下回ったのは96年以来となる。一般・特定許可別では、一般許可が48万6466（0.4%増）、特定許可が4万7434（1.5%減）。一般許可業者数はピークだった99年度末に比べ15.8%減。特定許可業者数はピークだった04年度末比で7.3%減となっている。28許可業種別では、業種で業者数が増加した。増加率の上位業種は熱絶縁工事業、ガラス工事業、防水工事業、板金、鉄筋、内装仕上げの順で、同省はリフォーム需要の増加が影響しているとみている。建築の許可業者数は前年度末より0.4%、665業者の減少となっている。

許可業者数等の推移

